

○末恒小学校6年生の授業感想

今回もまた中山先生の授業が始まった。今回は、縄文時代や弥生時代のものを作った。かんざしやかごなどを作って、その中でぼくはかごを作った。かごは、通すところを苦戦してなかなか完成しなかった。とちゅうでイライラするときもあった。それでもかごを作っていく、1時間ほどかけて完成させた。かごを完成させたので、持って帰っているいろいろなものを入れた。今回もたくさんのかごを教わったし、縄文時代のかごもつくれたので楽しかった。今後の社会もがんばってやっていきたい。

「うわ！何このにおい！」とてつもなくくさい！鹿の角！鹿の角ってこんなにおいするんだ。3,4校時目、わたしたちは、中山先生に社会を教えていただいた。今回は、3つの体験の中から一つ選んで体験ができた。わたしは、かんざしを作りに行った。本物の鹿の角で作った。やすりを使って作った。本物の鹿の角を使って作るとは思っていなかったの、びっくりした。けずるのが少し大変なところもあったけど、上手にできて良かった。昔の人は、こんなに大変なことを毎日やっていたんだと思った。貴重な体験ができてよかった。また機会があればやってみたいと思った。

あああ一頭にくる、このイガイガする気持ち、なんだいや、まじで。そう思いながらかごを使った。先生は、「かごが一番難しいんだよ。」と言われた。気持ちがほっとした。だけど、まだイライラは止まらない。ぼくは、とちゅう、「あきらめたらそこがゴールだけえ、やめる。」と何かぼそつと言った。でも、みんなの力を借りなかった。だからこそその達成感はずよかった。でも改めて、古代の人たちは今日やったことが身近なことなんだなあと思った。そして、それから、この道具たちは進化し続ける。

何するのかなあと思いながら大黒さまホールへ近づいていく。もしかして、今習っている江戸時代なのかなあ、楽しみだなあ。ついに中山先生の歴史授業だ。大黒さまホールには机が置いてあるし、ブルーシートも置いてある。何をやるんだ。不思議だ。中山先生の説明が始まった。わたしは、ループ組ひもを選んだ。簡単そうだったから選んだ。あと、「君の名は」で組ひもみたいなのが出てきたからやりたかったし、家でも普通につくれそうだったから。でも実際やってみると難しい。なかなかできない。でも、選んだんだからやらないといけないから、コツをつかみながらがんばった。最後は、大きな組ひもを作ったら、きれいになったからよかった。今日は、貴重な体験をしたなあ。

「がんばってるね！」「それじょうず！」などの喜びの声が上がっている。今、社会の授業で中山先生が来てくださっている。縄文、弥生時代の技術を使って工作をした。作るものは3つ。1つはひも。2つ目はかんざし。3つ目は小さなかご。わたしはかんざしを作った。鹿の角をやすりでみがいて作った。思ったようにはできなかったけど、昔っぽく作れてよかった。それでみんながいろいろほめ合っていた。作る時驚いたのは、とてもくさかったことだ。けずるのもきつかった。でも楽しかったからよかった。とってもうれしかった。

今日の社会は、いつもの社会ではない。陸上大会だったから、今日は人数がとても少なかった。社会の授業は、今回も中山先生、松本先生、田中先生が来てくださって、昔の人々が作っていたかみどめ、か

ごなどを作った。わたしは、今日の体験で作ったものは「ループ組ひも」で、毛糸を編み物みたいにして組ひもをつくっていった。最初はすごく苦戦した。中山先生がお手本をしているとき、「ああ、そういうことか」と思ってさっそくやってみたら、手の動かし方やひもをここに通すところが分からなくなったけど、友達に「ここを通すんだよ。」と教えてもらって、やっと意味が分かった。すごくきれいにできた。最後に実験をした。すごーく長い組ひもを作った。最初すごくへんなことになって、「あーやばい！」と思ったけど、きれいに直せて、最後はきれいな長い組ひもができたのでよかった。またできたら次は他のものがしたいなと思った。

大黒様ホールに入るとたくさん机があった。何だろう？と思いながら中山先生たちの話を聞いた。先生たちの話を聞くと、弥生時代の体験をさせてくださるそうだった。ぼくは、3つの体験の中から少し迷ってカゴにした。2つのひもを選んであみみたいなのに通して作るやり方だった。ぼくは、ひもの色を赤と白にしたけど、他の人とかぶったのでピンクと白にした。最初は結構簡単だと思ったけど、思ったよりも10倍ぐらい難しかった。でも男子の中では結構早くできてよかった。昔のかごが意外にも難しくてびっくりした。昔の人はすごいなあ。

集中していた。「おっ！できた。」はあ、つかれた。いっちばーん。「大丈夫？できた？」男子たちは苦戦中。何回も教えてあげた。「下から上に。下から上に。分かった？」「こっから、どーするー？」「えっと・・・。」わたしも男子たちもがんばってやっているのに、古代の人は簡単にしていたのかなあって考える。今みたいに十分な材料も道具も簡単に手に入らなかったのに上手に作っていてとても器用なんだなあと思った。けれど、コツをつかむと楽にできたのでよかった。「なあ、次どうするー。」男子が言った。「はい、はい。」わたしは、そこへ行った。

「ああ・・・難しい。」ぼくはかごを作りながら言った。色のついたひもを結ぶのが難しかった。お手本を見るととてもきれいにできていたのですごいなあと思った。他にも2種類あったけど、楽しそうだったからかごにした。だけど、難しくって、めっちゃ時間がかかった。

「手ににおいがついた！」わたしは、友だちと話していた。今日は、中山先生たちに教えていただきながら、かんざしを作っていた。ところで、その臭さの原因はしかの角。しかの角を使って作るので独特なおいがした。でも、作るのはとても楽しかった。初めての体験だったので、さらに楽しかった。途中で手がつかれたけど、最後には2本の棒の模様がきれいにほれたのでよかった。今回も、とても貴重な体験をさせていただいて、思い出になった。しかの角で作ったかんざしは、ずっとかざって大切にしたいなと思った。